

2004.4月号

NIPPON GOOD PARTS

No.156



大盛況の4日間!!第3回国際オートアフターマーケットEXPO2004

リサイクル部品の優位性や 自動車リサイクル法へ向けた 取り組みなどを来場者にPR

3月4日から7日までの4日間千葉県幕張メッセで開催された「第3回国際オートアフターマーケットEXPO2004」は総勢3万8184人の来場者を集め、大盛況のうちに閉幕した。

NGPグループの出展ブースにも政府関係者や自動車整備修理工場・部品商など、たくさんの業種から多数の来場者の方々が訪れた。

自動車リサイクル法 への対応をアピール

今年の国際アフターマーケットEXPOは例年に比べて、特にリサイクル部品に注目が集まった展示会となった。

同展示会の運営事務局も、本格施行まで10ヶ月を切った自動車リサイクル法をにらんで、リサイクル部品関連の企業出展を多く呼びかけ、来場者である自動車整備工場や修理工場にリサイクルパーツの浸透、啓蒙活動を強化していくことを今回のショーのテーマの一つに上げていた。

実際にこの自動車リサイクル法の浸透度は、自動車メーカーや解体事業者以外の自動車関連業界へはまだ低くと言わざるを得ない。ましてや一般ユーザーへのPR度、理解度は非常に低いというのが実状だ。

NGPグループでは今回のショーのテーマを「リサイクル法のすべてに対応するNGPグループ」として、リサイクル法に先駆けて取り組んできている「自動車の適正処理」についての解説や、リサイクル部品が商品化されるまでの工程をパネ

ルやビデオなどを使って解説。一般ユーザーが見ても分かりやすく、自動車のリサイクルにもっと関心を持ってもらえるような展示を行った。

また、リビルト部品の実物の展示や高品質なNGPブランドのリサイクル部品の活用によって一般ユーザー、整備工場などが得られる様々な優位性などについてもPRした。

整備工場が一般ユーザーとの橋渡し役に…!!

今回の展示会は、ビジネスショーのため一般ユーザーの来場者は少なかったが、逆に整備工場や修理工場・部品商などの自動車関係の業態の人たちが多く来場していた。

NGPグループのブースで、自動車リサイクルについてのアンケートに答えている整備工場の人と話を聞くと「自動車リサイクル法が施行されることは知っているが、詳しい内容までは恥ずかしい話、実はよく知らなかったんです。でも、整備工場



大きな気球が会場でも目印に...



行政関係の方も来場、スタッフの説明に興味深く聞いていた

では、リサイクル料金の預託や使用済み自動車をお客様から引き取った時に電子マニフェストの入力作業などがあり、いろいろ業務が増えるということをごにこにきて始めて知りました。」と話した。

しかし、一方では「NGPのブースなどに展示してあったリビルト部品などは、新品とほとんど変わらないくらいきれいに商品化されていましたし、中古パーツにしても、商品管理や品質保証が徹底されていると分かったので、もっとリサイクル部品を使った修理などを上手にお客様に説明して、部品交換につなげられればと感じました。」とも語ってくれた。

NGPグループの青木勝幸会長は、今回の展示会を振り返って、「自動車の整備や修理に携わる工場の方々がたくさんNGPのブースにも来場してくれた。この先、施行になる自動車のリサイクル法を円滑なシステムとしていくためには、一般ユーザーさんへのリサイクル部品の告知や啓蒙が必要です。でもそのためには、我々、リサイクルパーツ業者と一般ユーザーとの橋渡しとなっている自動車整備工場さんたちに、リサイクル部品のことを良く知ってもらうこともっと必要だと感じています。ですから、今回のビジネスショーなどの様に、一般ユーザーだけでなく整備事業者の方々にも、リサイ

クル法やリサイクル部品のことをもっと知ってもらい取り組みが、法施行までの残り数ヶ月ですますます重要になってくると思います。」と総括した。



リサイクルパーツが出来るまでをビデオ(上) パネル(下)などを使って分かりやすく説明



協力企業のあいおい損保は全損車両のオークションシステムを紹介



リサイクル部品に関するアンケートに答える来場者

自整業も自動車リサイクル法 知っ得ゼミナール

リサイクル料金の預託業務とは
先月号から始まった「自整業のための自動車リサイクル法講座」。

第2回目となる今回は、自整業がリサイクル法の中で一番関係してくる「リサイクル料金等の預託」に関する業務について解説していきたいと思ひます。

まず、リサイクル料金の預託とは、カーオーナーが自動車リサイクルをするための費用で、その資金管理人(自動車リサイクル促進センター)に支払うことです。

整備工場では、このリサイクルを料金の徴収を資金管理センターの代行として、預託する業務を行います。その場合、預託のパターンとして次の3通り想定されます。

“引取時預託”・・・整備工場(引取業者)が、リサイクル法施行後、使用済み自動車をカーオーナーから引取った時にリサイクル料金が支払われていないと確認した時には、リサイクル料金を預託する業務。

“新車購入時預託”・・・自動車リサイクル法の施行後、新車を販売する時にユーザーからリサイクル料金等を預託する業務。

“既販車の車検時預託”・・・自動車リサイクル法が施行となる平成17年1月1日以前に販売された既販車について、制度開始から三年以内に継続検査・構造等、変更検査又は中古新規登録・検査を受けるものについては、それぞれの検査・登録時にリサイクル料金等を預託する(継続検査時預託)業務。

つまり、整備工場にとってはの項目が特に重要な関わりを持つことになります。

既販車のリサイクル料金、車検時預託が採用された理由

“既販車に関しては、自動車リサイクル法が施行後、最初に迎える車検までにリサイクル料金を払いなさい”という法律で、その間であればユーザーはどのタイミングでもリサ

イクル料金を払うことはできます。しかし、逆に言うと車検というタイミングが、一番リサイクル料金を払いやすいというものです。

国では、法施行後三年間の間、毎年約3300万台がこの継続検査時預託でリサイクル料金の支払いが行われると算出しています。

そこで、リサイクル料金が未払いのユーザーの車が車検で整備工場に入庫してきた際に、車検業務と一緒にリサイクル料金の預託業務も整備工場が行えば、簡単になるべく混乱せずに既販車からリサイクル料金を徴収することができる国は考えたからです。

また、暫定で三年間という期間のものに莫大なシステム構築費用を掛けるよりも、既存のインフラとして整備工場が選ばれたわけです。

次号では、整備工場におけるリサイクル料金の車検時預託の業務の流れについて詳しく説明したいと思ひます。

第7回初級営業マン研修会

受講生自ら考えたNGPグループ 営業マンのスローガンを発表!!



あいおい損害保険株式会社湘南東保園にて

NGPグループ・教育部では2月13日から15日までの3日間の日程で、第7回初級営業マン研修会を開催した。

今回の参加受講者は20名で、新卒社員からフロント・生産などの経験を持つベテラン社員まで、実に幅広い層の参加者が集まった。

講義の内容は、営業マナーや営業会話の基本などの基礎的な内容から自動車リサイクル法の解説などがあり、営業マンとしての心得・知識の収集などの方法を学んだ。

「営業マンはその会社の顔になる人たちです。今回の初級営業マン研修会では、

名刺のやりとりや訪問先への挨拶など、営業の基礎部分を徹底

しました。受講生には基本がいかに大切かを理解してもらい、NGPグループ営業マンとして「自分はどうあるべきか？」ということはこの研修で考えてもらいました。」(長谷川教育部長)

研修最終日には、今回の研修で学んだ営業についての考えから「NGPグループの営業マンとは」というテーマで受講生たち自らが考えたスローガンが発表された。

スローガン

お客様から感謝される営業マンである事
そのためには

豊富な商品知識をお客様に提供する
常にお客様のメリットを考え行動する
NGPグループとお客様との橋渡し役
となる

との行動計画もスローガンの中に盛り込んだ発表となった。

リサイクル部品認知度向上プロジェクトがリサイクル部品の啓蒙ツールを作成

これからの自動車リサイクル法時代を見据え、自動車リサイクル部品をもっと一般ユーザーに知ってもらうための啓蒙活動の一環として、昨年11月にスタートしたNGPグループの「リサイクル部品認知度向上プロジェクト」では、この度実際に一般ユーザーとの接触の多い整備工場などが部品交換などの際に、リサイクル部品のことを一般ユーザーにも分かりやすく解説するために有効活用できる説明ツールを開発した。

この説明ツールは、リサイクル部品の種類や保証、あるいはリサイクル部品が出来るまでを写真などで分かりやすく解

説したB4判両面パウチの説明ツール
かわいいキャラクターとリサイクル部品の活用を訴えたコメントが描かれた卓上三角スタンド リサイクル部品活用推進店ステッカーの計3点。

近々、NGPグループメンバーから、お取引のある各整備工場などに配布される予定となっている。

整備工場の皆様には、このリサイクル部品説明ツールを使ってお客様にリサイクル部品のことをもっと知っていただくためのお役立ちツールとして活用いただき、またお客様とのコミュニケーションツールとしても活用できる。



ステッカー



三角スタンド



説明ツール(表)



説明ツール(裏)

NGP 通信欄

<新規会員>

ブロック	コードNo.	会社名	会社代表者	電話番号	FAX番号	郵便番号	住所
北海道	121	㈱鈴木商会(ELV旭川工場)	駒谷 嘉一	0166-48-0000	0166-48-2242	079-8431	旭川市永山町10丁目65-6

<社名変更・住所変更>

ブロック	コードNo.	会社名	住所
中四国	711	㈱エコオート ㈱ナカメタル	広島県広島市安佐北区小河原町204-7

<電話・FAX変更>

ブロック	コードNo.	会社名	電話番号	FAX番号
北関東	315	㈱CRS埼玉	04-2951-5310	04-2951-5310

矢田氏(元会長)の1周忌法要が営われる

故矢田充NGPグループ元会長の1周忌法要が、去る2月25日、地元沼津市光長寺山本坊に、親族、関係者など多数迎えて営われました。NGPグループからは、青木会長、多久島名誉顧問などが参列、故人との別れを惜しみました。法要のあと参列者は矢田家より沼津市内のホテルに招かれ、遺影が飾られた会場で食事をともにして故人の人柄を偲びました。



● NGPグループ リビルトメーカー協力会メンバー紹介

ジャパンリビルト(株)

日本の自動車リビルト部品のパイオニアであり、国内リビルトメーカーの最大手の一つでもあるジャパンリビルト(株) (田中勝弘社長) は、NGPグループのリビルトメーカー協力会のメンバーの一社だ。大阪府堺市に拠点を構え、多くの工場でも多数のリビルトアイテムを製造しており、現在その数21アイテムに上る。

「お客様から、“こんなにリビルト部品があれば欲しいんだけど・・・。”という要望に、私どもはリビルトメーカーとして何とかお応えしていきたい。そう考えて取り組んでいるうちに現在のアイテム数まで増やすことができました。」(田中社長)

このアイテムの数は同社が長年かけて一つ一つ築き上げてきた信頼の証ともいえる。

ジャパンリビルト(株)のモットーは「安く高品質の製品をお客様に提供する」を合



高岡数広部長(写真左) 田中勝弘社長(写真右)

言葉に、徹底した品質管理と自社工場でオリジナル部品を開発・製造をして交換、組み立てまで一貫した生産ラインで高品質・耐久性・低コストを実現している。

また、同社の大きな特徴として即時即納システムを確立しており、お客様を待たせることなく全国にリビルト部品を配送できる。



国際オートアフターマーケットEXPO2004にはブースを出展

徹底したコア管理と生産力でお客様にタイムリーに商品供給を行っているとのことだ。

「NGPグループとは、これからもリビルト部品の販売、コアの仕入れなど、お互い良いサイクルを構築して、お客様には高品質で低コストのリビルト部品を提供していきたいと思います。」(田中社長)



NGPグループでは高品質、高性能の各種リビルトパーツの販売も行っております!!

NGPグループリビルトパーツ取り扱い商品一覧

分野	品目
機能部品	エンジン、トランスミッション(AT・MT)、トルクコンバーター、ターボチャージャー、噴射ポンプ、パワーステアリングギアボックス、ラック&ピニオン、ドライブシャフト、ACコンプレッサー、パワステポンプ、シリンダーヘッド
電装系部品	スターター、オルターネーター、ECVTミッション、エンジンコンピュータ、スピードメーター

各種リビルト商品のご注文・お問い合わせは各NGPグループ加盟店にご用命ください

NGPグループ本部

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp>

株NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201

